



[著者]

清水ヒデキ 豪援隊隊長
弁護士・移民コンサルタント
(MARN:9900985)

「オーストラリアから日本を援
けよう」と豪援隊発足。16歳
で単身オーストラリアに留
学。その後、ボンド大学を卒
業し、QLD 州弁護士資格取
得。長年に渡り、日本人なら
びに日系企業、世界各国の
クライアントのコンサルタント
業務に従事。



インデックス

- 今月のジョーク 1-3
- 今月の視点
- 今月のジョーク 4
- 今月のコピペ 1
- 今月のなるほど
- 今月の拾い話
- 今月のコピペ 2
- 今月の名言
- 今月の発見
- 今月のコピペ 3



<http://zoesangels.org/>
Go オーストラリアグルー
プは、Zoe's Angels
「Zoeの天使たち」を
支援しています。

Go Australia
Visa Consultant

Go Australia Concierge

Go Australia
Business Solutions

Conveyancing Home
QLD

Shimizu Kokusai
Law Office



オーストラリアのエッセンスが3分でわかる

豪援隊かわら版 11



月号

今月のジョーク 其の壹

(ジョーク集より)

面接官 「まず、あなたの長所をお話下さい」
男 「僕は 15 回クビになりました」
面接官 「それがどうして長所なんですか？」
男 「僕は自分から辞めるなんてことは絶対にしな
いんです！」

今月のジョーク 其の貳

(ジョーク集より)

強盗は金か命を要求する
女は両方要求する

今月のジョーク 其の参

(ジョーク集より)

- A 「俺の会社ブラックなんだよな・・・」
B 「色があるだけいいじゃないか」
A 「お前はむしょくつてか」



今月の視点

正に激動の 11 月でした。個人的にも、社会的にも、そして国際的にも様々な出来事があった月でした。来月はもう 12 月で師走です。このまま、年末まであわただしいままに進んでいきそうな気配です。そんなこんなの今月の視点です。

1. メルボルンカップ

いろいろあってすでに遠い思い出になってしまいましたが、メルボルンカップが今月初めにありました。この日は、オーストラリアの伝統に則り、皆でランチをしながらのレース観戦となりましたが、レースそのものよりも、レース後に命を落とした日本からの競走馬を含める 2 頭に関しては、少し後味の悪さを残すこととなりました。しかし、この日の午後は、ほとんどの会社は開店休業で、レースを楽しんだオーストラリアでした。

2. チャリティーディナー

皆さまの多大なご協力のおかげで、当グループで主催しました Zoe's Angels チャリティーディナーを無事に終えることができました。最終的には 300 人近い方にご参加いただき、その結果 3 万 5 千ドル以上の義援金を集めることができました。これも皆さまの寛大なる寄付のおかげであります。改めて、皆さまのご協力に感謝いたします。

3. プレ G20 サミット

G20 サミットがブリスベンで開催されました。世界のリーダーが一所に集まる大変さと凄さを改めて知った気がします。G20 サミットが開催されるということで、ブリスベンは、その数週間前から色々な準備が始まっていました。特に各種デモならびにテロ行為を警戒しての警備体制は非常に厳しい状態でした。数日前になると、様々な交通規制等もありブリスベン CBD へ入ることも難しくなりました、そのため、その時ばかりはブリスベン CBD はゴースタウンかと思うくらい、人も車も見あたりませんでした。見えるのは、警備の警官達ばかり、なかなかあいつつブリスベンの街も見られないですね。

4. G20 サミット

G20 サミットの前日は警備や交通規制の関係から、ブリスベンは祝日となりました。この祝日は G20 サミットの影響を受けるブリスベン市のみで祝日ということで、ゴールドコーストや他の都市では通常通りとなっていました。そこで、ブリスベンオフィスのスタッフにその日は GC オフィスでの勤務を言い渡しましたが、全く本気にはされませんでした。

5. G20 サミット - プーチン大統領

今回の G20 サミットにて、いろいろな意味で注目をされていたのはロシアのプーチン大統領でした。オバマ大統領が世界でのリーダーシップを発揮できない昨今、その行動力と統率力において、何かとプーチン大統領は注目をうけることになっています。良い注目であればよいのですが、最近集めている注目はウクライナの問題におけるロシアの関わり合い等、あまりいい注目ではありません。そのため、各国首脳やメディアからも豪滞在中、言われればなしのプーチン大統領は、やはりそれが嫌で途中で早退してしまうという結果になってしまいました。

6. 中豪自由貿易協定

アボット首相が、大変満足げな表情で、習国家主席と共に中国との自由貿易協定を発表していたのが印象的でした。しかし、当方はどうしても少しうがった見方をしてしまいます。オーストラリアとしては、中国という巨大な市場に関税なしでいろいろなものが売り込めると喜んでいますが、何を売り込むかといひますと農産物、畜産物、そして海産物等の食料品が主となります。巨大な人口を抱える中国では、今後どのように食料を確保していくかは死活問題。そこで、広大な土地を持つオーストラリアは格好の(餌食)いえパートナーに成り得るでしょう。この対価として、オーストラリアは中国からの資本の場合には2500万ドル(約25億円)までの土地であれば、制限無しで購入することができるようになりました。現在、すでにインドや中国資本により農地の買占めが進んでいる中、この中国資本の優遇措置はますます中国資本による農地等の買占めに拍車をかけることになるのではと憂慮しております。中国に輸出する食料品はすべてオーストラリアにおける中国資本によって生産され、それが中国に輸出される。オーストラリアの利益をどこに見出せるか、これからの課題です。

7. 雹にあられ

月末にはブリスベンを中心に30年に一度といわれる嵐が吹き荒れ、市街の数々の建物を損壊させました。中には、通行中のバスのフロントガラスが外れてしまったりと、とんでもない被害をわずかな時間の間にうみました。交通機関も止まってしまい、ウチのスタッフたちも家に帰れずに夜遅くまでオフィスで退避せざる負えませんでした。翌日、スタッフたちをねぎらおうと朝出社するとオフィスのキッチンにはワイングラスが並んでいました。家に帰れないスタッフたち、仕方ないからオフィスでワインを飲んで酒盛りしていたとのこと。事情が事情だけに、こればかりは怒れません。

今月のジョーク 其の四

(ジョーク集より)

「君んちのパパってマジシャンなんだって？」
「うん。こないだも新しいマジックに挑戦してたよ」
「へー、どんなヤツ？」
「身体をチェーンでグルグル巻きにして海に飛び込むんだ」
「凄いじゃん。それでどうなった？」
「うん、今はママが代わりにマジシャンやってる」

今月のコピペ 其の壱

(インターネットより)

昔実家にいた頃、夏場にテレビ見ながらごろごろしてたら、ばあちゃんが寄ってきて、私の耳元で
「ゴキブリホイホイを台所の冷蔵庫の下と流しの下に仕掛けたから」と小声で囁いた。
「何でゴキブリホイホイの仕掛け場所、小声で言うの？声枯れたの？」と聞くと、ばあちゃんは怖い顔をして
「しっ!!! ゴキブリに聞こえる!!」と怒鳴った。
しばらく笑いが止まらなかった。
ばあちゃんは真剣だった。



今月のなるほど - ウラジーミル・プーチン

1952年10月7日 ロシア連邦の政治家

■語学: ロシア語、英語、ドイツ語
■FSB時代のあだ名: 死神 (どういった経緯で死神というプーチンらしい異名がついたのか不明)

■身長: 168cm

■趣味: 釣り、競馬のファン、犬好き

■ペット: ラブラドル・レトリバー (名前: コニー)

煙草は吸わず、酒もほとんど飲まない

尊敬する歴史上人物: ピョートル1世とエカテリーナ2世

■語録:

「テロリストは便所に追い詰めて肥溜めにぶち込んでやる」
(1999年、チェチェン武装勢力に関して)

「日本は、不倫や近親相姦を題材とした小説を紙幣に印刷して流通させるほど社会が堕落したのか」

(2000年7月、九州・沖縄サミットで日本の首相の森喜朗が二千元紙幣を各国首脳に配布した時に)

「我々の敵はテロリストでなく、ジャーナリストだ」
(2001年5月)

「もしあなたがイスラム過激派になりたくて割礼が必要ならモスクワに招待する」(2002年11月、「チェチェン住民を抹殺しようというのか」というフランス記者の質問に対して)

「(地球温暖化のおかげで)毛皮のコートを買う金も節約できる」(2003年9月、気候変動会議の開幕式で)

今月の拾い話

今月の大きなニュースの一つは俳優高倉健さんのお亡くなりになったことでした。亡くなられた後に改めて感じるのは、日本人にとっていかに高倉健さんの存在が大きなものであったかということでした。筆者にとっても、寅さんの渥美清さんがお亡くなりになった以来のショックなニュースでした。そんな健さんにまつわるエピソードをいくつか。

健さんがヤクザ映画で売れている頃俳優の小林稔侍さんは掛け出しで健さんの脇役。稔侍さんの引越しが決まった時に健さんが祝儀(当時のお金で200万円~300万円)を渡そうとしたら(流石に高額すぎたのか?)稔侍さんは固辞したそうです。そしたら引越しの当日健さんは作業着を着て引越しの手伝いに現れたという話

[出典高倉健さんについて - フミノヴィッチの感動報告]

武田鉄矢が話していた、映画のデビュー作・幸福の黄色いハンカチのエピソード。

ラストの黄色いハンカチがたくさん干しているシーンで、鉄矢は泣く芝居をしないとけなかつたけど、そのシーンに一週間撮影をかけていて、毎日ハンカチを見ているうちにハンカチが安全第一の旗に見えて涙が全く出なくて、泣く演技をするのに苦労したんだって。そしたら、そのシーンが終わったら撮影も終わって1ヶ月振りに東京に帰ることになっているのだけど、「よーい」ってカチンコが上がった瞬間、健さんが小声で、「長い間世話になったな。東京に帰っても体元気づけて、しっかり生活するんだぞ。楽しかったぜ。」って言ってくれて、鉄矢大号泣で無事にラストシーンの撮影成功。

[出典高倉健 続・妄想的日常]

今月のコピペ 其の貳 — 母の顔のやけど

私は母の顔がすごく嫌いでした。
なぜなら大きなやけどの跡があるからです。

よそのお母さんはあんなに綺麗なのに何で私のお母さんは・・・とか、何でこの人が母親なんだろうとさえ思ったことがあります。

そんなある日のこと。その日の四時間目のこと私はあることに気づきました。タベ徹夜で仕上げた家庭科の課題が手元に無いのです。どうやら家に置いてきてしまったようです。あたふたして勉強も手につきません。家庭科の授業は五時間目。

私は昼休みに自宅まで取りに帰る事を決心しました。四時間目も終わり帰る準備をしていたところ、クラスメートが「めぐみ～、めぐみ～、お母さん来てよ」と言いました。

私は、はっとしました。急いで廊下に出てみると何と母が忘れた課題を学校まで届けに来ていたのです。「なんで学校にきてるのよ！取りに帰ろうと思ってたのに！」と息を立てて問い詰めると、「でも、めぐみちゃんタベ頑張ってたから・・・」と言いました。私は、「おばけみたいな顔して学校来ないでよ、バカ！」と言って母から課題をひたたくように取り上げるとすたすたと教室に入って行きました。自分の母親があんな顔をしていることを友人達に知られてしまったことで私は顔から火が出る想いでした。

その日の夕飯後のこと私は父親に呼ばれました。昼間のことで怒られるのだろうな・・・と思いました。すると父親は予想に反してこんな話をはじめました。

「お前がまだ生まれて数ヶ月の頃隣の家で火事があったな。その火が燃え広がってうちの家まで火事になったことがあったんだよ。そのときに二階で寝ていたお前を助けようと母さんが煙に巻かれながらも火の中に飛び込んでいったときに顔に火傷を負ってしまったんだよ。今お前の顔が綺麗なのは母さんが火の中に飛び込んでいってお前を助けたからだよ。」

私はそんなことは、はじめて聞きました。

そういえば今まで火傷の理由を母から聞いてもあやふやな答えしか返ってきたことはありませんでした。「なんで今まで黙ってたの？」私は涙ながらに母親に聞くと、「めぐみちゃんが気にすると思ってずっと黙ってようと思ってたんだけど・・・」と言いました。

私は母への感謝の気持ちと今まで自分が母親に取ってきた態度への念とで胸が張り裂けそうになり「お母さん～」と言って母の膝の上でずっと泣いていました。

今では自分の母の顔のことが誇りにさえ思えるようになりました。家族を、私を守ってくれた母のこの顔の傷のことを・・・
(インターネットより)

今月の名言 — ブルースリー夫人

自分の人生から太陽が消えてしまったと嘆き続ければ、きれいな星が涙で見えなくなってしまう

If you cry because the sun has gone out of your life, your tears will prevent you from seeing the stars

今月の発見 — しゃぶしゃぶ食べ放題のお店にて

先日仕事の同僚としゃぶしゃぶ食べ放題のお店に行った。

そのお店は一人ずつお肉と野菜を注文してしゃぶしゃぶをするお店だった。

お肉は牛と豚のどちらかを注文することができた。最初は牛肉のしゃぶしゃぶを皆で食していたが、しばらくして、皆で豚しゃぶを注文することにした。しばらくして、お店の人が豚しゃぶを持ってきて、テーブルの我々に向かって言った。

「はい、皆さん豚ですね。」皆で、こけた。



(ラジオの投稿より)

今月のコピペ 其の参

学生時代、書類の手続きで1年半ぶりに実家に帰った時のこと。本当は泊まる予定だったのだが、次の日に遊ぶ予定が入ってしまったので結局日帰りにしてしまった。

母にサインやら捺印やらをしてもらい、帰ろうとして玄関で靴紐を結んでいると、父が会社から帰ってきた。口数が少なく、何かにつけて小言や私や母の愚痴を言う父親のことが苦手で、一緒に居ると息苦しさを感じていた私は、父が帰宅する前に帰ってしまいたいというのも、日帰り、ひいては通えない距離の学校を選んだ理由の一つだった。

父が、「お前、泊まるんじゃないのか」と訊いたので、「ちょっと忙しいから」とぶっきらぼうに答えると、手に持っていたドーナツの箱を私に差し出し、「これやるから、電車の中で食べ。道中長いだろうから」と言った。

駅に着くと、電車は行ったばかりのようで人がなく、30分は待たされるようだった。小腹が減ったので、父からもらったドーナツの箱を開けた。3個ずつ3種類入っていた。家族3人でお茶するつもりだったんだなあ。でも、私が9個貰っても食べきれないよ。箱の中を覗き込みながら苦笑した。

その直後。ああ、あの人は凄く不器用なだけなんだろうな。ふとそう思うと、涙がぼろぼろ出てきた。様々な感情や思い出が泡のように浮かんでは消えるけど、どれもこれも切なかったり苦かったりばかりで。手持ちのポケットティッシュが無くなっても、ハンカチが洗濯して干す前みたいに濡れても涙は止まらなくて、結局、一本あとの電車が来るまで駅のベンチでずっと泣き続けていた。

(インターネットより)

Go Australia Visa Consultant

ゴールドコースト事務所

Suite 222, Level 2, Watermark Hotel & Spa
3032 Surfers Paradise Blvd, Surfers Paradise QLD 4217

ブリスベン事務所

Level 2, 262 Adelaide St, Brisbane QLD 4000

E: info@goaustralia-visa.com

<電話でのお問合せ>

オーストラリアから: 07-5570-4542 (月～金 9:00-17:00)

日本から: 03-4283-8484 (日本時間 月～金 8:00-16:00)

www.goaustralia-visa.com